



ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

株式会社ティーケーピー 代表取締役社長 河野 貴輝

このたびは、新興市場部門のディスクロージャー優良企業に選定頂き、誠にありがとうございます。2017年3月の東証マザーズ上場以来、経営陣とIR部門が一体となって取り組んできた活動をこのような形で評価頂き大変光栄です。

当社は2005年に創業し、遊休不動産を活用する貸会議室事業を中核としつつ、料飲・バンケット運営、ホテル・宿泊研修、BPO、イベントプロデュースなど周辺サービスへも事業を拡大して参りました。2019年5月にレンタルオフィス世界 No.1 ブランド「Regus」などを国内で展開する日本リージャスホールディングス株式会社を子会社化したことで、短中期オフィスへもサービス領域を拡大。現在はフレキシブルオフィス事業（貸会議室・ホテル宴会場・レンタルオフィス・コワーキングスペース）を中心に、ありとあらゆる空間ニーズに応えることを目指しています。

当社は上場してからまだ日が浅く、類似企業も少ないことから、IR活動においては投資家の皆様にビジネスモデルや経営戦略、ビジョンを分かりやすく伝えることを心がけてきました。貸会議室というと小さなミーティングルームをイメージされる方が多いのですが、当社は100席以上の規模が大きい会場を主力商品としております。ケータリングや宿泊事業など内製化した周辺サービスを活用した単価向上も大きな特徴です。このような独自のビジネスモデルを国内外のIRミーティングや決算説明会などを通じて繰り返し説明し、皆様のご理解を

得られるよう努めてきました。

また、投資家の皆様としっかりとした信頼関係を築くため、経営上の情報についてポジティブな面だけではなくネガティブな面も積極的に開示して参りました。当社は長期的な事業の成長を見据えて新しい試みを続けており、IR活動を通じてそれらの事業戦略における位置づけや展開の見通しを示しています。結果として試みが上手くいかなかった場合でも、失敗の原因やその後の対応方針についてオープンにしていくことが、当社への信頼を高め、ひいては企業価値の向上につながるものと考えています。

日本リージャスの買収は当社としては過去最大の案件となり、不安や懸念のお声もありました。しかし、企業のオフィススペースの効率化や働き方改革の動きを受けてフレキシブルオフィス市場の拡大加速が見込まれることや、貸会議室事業とのシナジーが大きいこと、海外展開の拡大を見据えた決断であることを丁寧に説明したことで株主・投資家の皆様からご評価頂き、本件に絡んで2019年10月に行った公募増資も投資家の皆様からのご理解を得ることができました。

このたびの受賞を機に、今後も投資家の皆様から一層のご理解ご支援を賜れますようIR活動の一層の充実を図ってまいります。最後になりましたが、アナリストの皆様には、日頃より多くのアドバイスを頂きまして、大変ありがとうございます。引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。